

市内の小・中学校で英語を教えているA.L.T. (外国語指導助手)の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことを紹介するコーナーです。

My life in Kuji



ギムハニ・ミレイ・ペッターウッド
 オンタリオ州・27歳/久慈小、久慈湊小、夏井小、平山小、侍浜小、久慈中、夏井中、侍浜中、山形地区の小中学校を担当

感動絶賛した一言

新年明けましておめでとうございます。2026年もよろしくお祈りします！もうとっくに年は明けていますけどね！（笑）

本題に入りますが、数力月前に心を打たれる言葉を学びました。久慈市国際交流協議会主催の「Hello World!」を通して、福祉の村で茶道を体験したときのことで。お茶会の前に先生が床の間の紹介をされ、そこに「一期一会」と書かれた掛け軸がありました。一期一会とは、来年の今日が今年と同じになるとは限らない、人との出会いや一瞬一瞬は二度と同じ形では訪れない、という意味です。だからこそ「今」を大切にしなければならないのだと思います。

確かに、そう考えてみると、今の久慈市での生活も永遠に続くとは限りません。だからこそ、やるべきことに向き合いながら、毎日を全力で楽しみたいと思います。皆さんもぜひ一期一会を意識して日々を過ごしてみてください。

市民

センターだより

夏井市民センター
 ☎53-2581



夏井市民センター事業紹介 夏井に伝わる小正月行事

夏井市民センターでは、夏井で古くから行われてきた伝統的な小正月行事を地域団体の協力を得て毎年行っており、本年は1月10日に行いました。

玄関や窓の脇には厄除けのため、串の端の切れ目に昆布と煮干しと松の葉を挟んだ「まどふたぎ」を挿しました。みずき飾りは、春夏秋冬を表す4色の団子をミズキの枝の先端に飾り付けて無病息災を願いました。また、笹の上端にもちをつけて葉を表す「あわっぼ」、わらにもちを通して稲を表す「稲穂」、クルミの木の表面の切れ端が3段、5段、7段の放射線状に広がるように上から薄く削って、麦、稗、豆を表す飾り物を供えて五穀豊穡を祈願しました。その後、夏井大梵天神楽保存会の皆さんに権現様で見固めをして、無病息災を祈願していただきました。

これらの小正月行事は、地域ではほとんど行われなくなってきています。夏井に古くから伝わる伝統行事を継続して実施し、次世代に継承していきたいものです。

きらり人輝く

DJを学び各地で音楽イベントを開催
 上京し音楽に関わる仕事に挑戦

音楽で久慈に恩返しをしたい

DJとして活動し、仙台や東京などで音楽イベントを開催をしている西野さん。2月から東京で音楽に携わる仕事に就職する西野さんに、音楽の魅力やこれからについて伺いました。



Name
西野 来那 さん
 にしの らいな (侍浜町・23歳)

Profile
 DJ・イベントオーガナイザー

■DJを始めたきっかけ
 進学先の宮城県仙台市にいるときに、友人に連れて行ってもらったクラブでDJを知りました。ただ曲をつなげるのではなく、さまざまなテクニックがあることに魅力を感じ、普代村役場に就職し久慈に戻ってからも、毎週のように仙台に通いながら独学でスキルを勉強。久慈でDJをしている人と知り合い、その人のDJ講座に参加して基礎から技術を学びました。

■久慈でイベントを開催
 DJを始めて1年が過ぎた頃、東京のクラブで初めてイベントを主催。イベントを通してさまざまな人とつながりができ、仙台や盛岡など各地でも開催しながら腕を磨きました。昨年8月には久慈でフェスイベントを開催。仙台や東

京で知り合った尊敬する友人を招き、自分が見てきた音楽の良さを集めたステージを作り上げました。

■音楽で久慈市に恩返しを
 DJを始めて、好きな音楽の近くで、人を支える仕事をしてみたいと思うようになりました。2月から東京の芸能事務所への就職が決まり、アーティストのマネジメント業務を担当します。DJの活動も続けていきたいです。

音楽には人をつなげる力があると思っています。私もいろいろなつながりがあって活動をしてこられました。久慈ではDJやヒップホップを楽しむ人は少ないですが、興味がある人や挑戦してみたい人をつないでいきたいと思っています。音楽を通して、久慈に恩返しをしていきたいです。

協力隊 ふうしん

新村 樹 さん
 (にいむら・たつき 29歳)



令和5年4月着任。長野県出身。山根町で農業や食文化の魅力を発信中。

残る任期は約2カ月となりました

本年度は公私ともにさまざまな出来事がありました。協力隊活動としては、耕作放棄地を活用した農業を实践。春先に足の骨を折り（薪割り中の事故…）暦通りの作業が危ぶまれましたが、友人や知人が畑まで来て作業を手伝ってくださり、周りの人たちに助けられ何とか例年通りの作付けができました。お試し協力隊ツアーや山根キャンプというイベントでは、味噌や豆腐といった伝統的な食文化についても発信することができました。

私事ですが、昨年8月に第1子が誕生しました。山根町では6年ぶりとのことで、地域の皆さんに見守られながら、子育てにも励んでいます。

任期は3月までですが、卒隊後も山根町に住み続けます。野菜の栽培、販売も続けていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。インスタグラムでの発信に力を入れていきますので、ご覧ください。



集まれ！ 元気の輪

点字サークルてんとうむし

代表：中田 悦子 さん
 活動場所：市総合福祉センター ☎53-3380 (市社会福祉協議会)
 活動日：不定期 (相談して決めます)

点字を広める活動も行います



点字サークルてんとうむしは、平成3年に発足したボランティア団体で、3人で活動しています。

ニーズに合わせて、書類の点訳や点字の名刺作りなどを行います。現在は図書館に点字図書を寄贈するため、絵本の点訳を主に活動。依頼を受け、点字や障がい者への理解を深めてもらう教室なども開催しています。

メンバーを募集しています。以前は高校生や目の不自由な人も参加しており、一緒に活動する交流の場になっています。点字、ボランティアに興味がある人や一緒に活動してみたい人は気軽に連絡ください。

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。カフェを中心とした地域の活性化、新規漁業者の確保や水産物の高付加価値化への取り組み、農泊事業の実践と推進、地域資源の商品開発・販路拡大PRなどを行います。